

カルシウム
欠乏症予防に！

野菜・果物・
花等の

液状カルシウム肥料



アグリメイト®

カルシウム (CaO) 含有率13%

本剤には、有機酸キレートカルシウム（グルコン酸カルシウム、乳酸カルシウム、酢酸カルシウム）と塩化カルシウムが約半分ずつ含まれています。カルシウムの補給により、細胞分裂時の細胞壁の形成が順調に行われ、幼果、新葉の生長が活発となり、ピーマン・トマトのカルシウム欠乏症（尻腐れ果、チャック果症、奇形果症）の発生を抑えます。また、細胞自体が強化されるので、日持ちも向上します。

有機酸キレートカルシウム増量による植物体内での移行性強化

散布時に本剤を希釈すると、多くのカルシウムは有機酸キレートカルシウムになります。従って、本剤を葉面散布すると、多くのカルシウムは有機酸キレートカルシウムとして植物体内へ吸収されます。有機酸キレートカルシウムは、リン酸イオンと結合しないため植物全体で吸収された多くのカルシウムは生長点へスムーズに移行することができます。

使いやすい液状タイプ

希釈しやすい液状タイプです。



尻腐れ果・
新葉黄化の予防

いちごの
チップバンの予防、
果実硬度の向上

きゅうりの
落下傘葉、クビレ果、
葉縁の黄化の予防

ピーマンの
尻腐れ果・
新葉黄化の予防



株式会社ニッソーグリーン

▶使用方法

対象作物名	肥効	希釈倍数(倍)	散布時期および使用方法
トマト	尻腐れ果・新葉黄化の予防	500 ~ 1,000	各花房の開花初期ごとに、花房、新葉、生長点によくかかるように散布
いちご	チップバーンの予防、果実硬度の向上		定植後、新葉展開期及び花房の開花初期ごとに散布
きゅうり	落下傘葉、クビレ果、葉縁の黄化の予防		各花房の開花初期ごとに、花房、新葉、生長点によくかかるように散布
ピーマン	尻腐れ果・新葉黄化の予防		開花期～収穫期まで10～14日間隔で散布

▶トマトの使用事例 目的: トマトのカルシウム欠乏症(尻腐れ果、チャック果症、奇形果症)の予防

トマト(ハウス抑制栽培の例)



▶トマト散布試験

供試場所: 日本曹達株式会社 温室

供試作物: トマト(桃太郎PFN-2)

供試規模: 6号鉢1区1本 10反復

定食日: 平成7年1月31日

Zn処理: 平成7年2月20日~

平成7年4月20日(10回処理) ←カルシウム欠乏症を発生させるため

薬剤散布: 平成7年2月28日(第1花房開花期)、3月16日(第2花房開花期)

調査方法: 平成7年4月24日に、各花房ごとの尻ぐされ発生個数を調べた



▶試験結果

試供薬剤	希釈倍数	CaO濃度 (ppm)	第1~2花房 総果実健全果率 %
アグリメイト	500	260	83.9
他社製品A	400	275	79.1
無処理	—	—	70.5

▶アグリメイトの効果例(抜粋) [イチゴ Ca欠乏症]

試験場所: 油日アグリロサーチ(株) (2013年)

栽培方法: 少量土壌培地耕栽培

供試作物: イチゴ(品種: 章姫) [定植日2012年11月8日]

試験資材: アグリメイト 500倍、1,000倍、無処理

処理時期: 定植活着後 1回目(2013/3/6)・2回目(3/15)・3回目(3/26) 計3回

処理方法: 10リットルの手動式噴霧器を使用して茎葉に十分散布した。(130ml/プランター程度)

調査月日: 2013年4月10日(最終散布15日後)

調査方法: Ca欠乏症の発生率および欠乏症程度を調査した。発生率は発生葉柄数(1葉柄=3小葉)単位で発生の有無を調査し発生率を算出。欠乏症の程度はCa欠乏症評価基準に従って、小葉単位で調査した。

結果: 3回目処理後10日目頃から小葉の先端が黒褐色化するCa欠乏症が発生。アグリメイトは無処理区との比較において効果が認められた。尚、薬害症状は認められなかった。



▶試験結果

Ca肥料	希釈倍数 (倍)	Ca欠乏症 (3反復の平均)				薬害
		欠乏症 程度	発生 葉柄数	調査 葉柄数	発生 葉柄率	
アグリメイト	500	2.0	1.0	32.7	3.7%	なし
	1,000	4.0	2.0	27.0	7.4%	なし
無処理	—	5.7	4.0	31.7	12.0%	—

(Ca欠乏症発生程度評価基準)

0発生無<1(小葉先端部に僅かにあり)<2(小葉先端部に明らかな発生あり)

<3(小葉先端部が黒く萎縮し明らかな発生あり)

△ 注意事項

- 使用前にラベルの表示事項をよく読んでください。
- 原料由来の天然成分が浮遊・沈殿することがあります。品質・成分に変わりありませんので、よく振ってから使用してください。
- カルシウム欠乏症が発現した細胞は回復しませんので、手遅れにならないように早めに散布してください。
- カルシウム欠乏症は出やすい部位、(花房、果実、新葉、生長点、結球部など)によくかかるように十分散布してください。
- 農薬と混用する場合は、本剤を希釈してから農薬を添加してください。
- 「石灰硫黄合剤」と混用すると有毒ガスが発生する危険性があるので混用はしないでください。

- 誤飲・誤食などのないように注意し、誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の診断を受けてください。
- 本剤が眼に入らないように注意し、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の診断を受けてください。
- 皮肉に付着しないように注意し、付着した時は直ちに石けんでよく洗い落とすようにしてください。
- 保管は密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別し小児の手の届かない冷涼な場所に保管してください。

●包装: 10ℓ×12本、10ℓ×2本

販売元



株式会社ニッソーグリーン

〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2(秋葉原新高第一生命ビル5F)

TEL.03-5816-4351 http://www.ns-green.com/